

〈特集「ヴォイスとその周辺」〉

ペルシア語のヴォイス

吉枝 聡子

(1a) ドアが開いた.

dar	bāz	šod.
ドア	開いた	～になる-IND.PAST.3SG

(1b) (彼が) ドアを開けた.

(u)	dar	rā	bāz kard.
(彼)	ドア	～を(POSTP)	開ける(複合動詞)-IND.PAST.3SG

*自動詞・他動詞に形態上の相違はなく、複合動詞では、自動は šodan 「～となる」他動は kardan 「～する」によって表すのが一般的。文脈によっては šodan の代わりに residan 「～にいたる」、gardidan 「～となる」などが用いられることもある。

(1c) 入口のドアが開けられた.

dar-e	vorudi	bāz	šod
ドア-EZ	入口の	開いた	～になる-IND.PAST.3SG

*ペルシア語の受動は通常「過去分詞+šodan の活用形」によって表されるが、動作主が一般的である場合に限られるなど、使用は限定的である。この例文の場合は受動表現を用いると不自然になるので、kardan を šodan に変えて、1a)の自動詞と同形で表す。

(2) 私は(自分の) 弟を立てさせた.

man	barādar-am	rā	istānidam.
私	兄弟-PRON.SUF.1SG	POSTP	立たせる-IND.PAST.1SG

*istānidan は ist 「立つ」+使役接辞-ān より成る使役動詞。これ以外に boland kardan 「立ち上がらせる」(boland 「起立した」+kardan 「～する」より成る複合動詞)などで置き換えることも可能。

(3) 私は(自分の) 弟に歌を歌わせた.

man	be	barādar-am	goftam	ke	āvāz	bexānad.
私	PREP	兄弟-PRON.SUF.1SG	言う-IND.PAST.1SG	CONJ	歌	歌う-SUBJ.PRES.3SG

*直訳は「私は私の兄弟に歌を歌うように言った」: 実際に「言う」動作を伴わない場合でも、形式的に *goftan* 「言う」を用いることが可能.

(4a) 《遊びたがっている子供に無理やり》母は子供にパンを買いに行かせた.

<i>mādar</i>	<i>bačče</i>	<i>rā</i>	<i>barāye</i>	<i>xaridan-e</i>	<i>nān</i>	<i>ferestād.</i>
母親	子供	POSTP	～のために(PREP)-EZ	買う-INF	ナーン	送る-IND.PAST.3SG

*直訳すると「母親は子供をナーン (パン) を買うために遣った」.

(4b) 《遊びに出たがっているのを見て》母は子供を遊びに行かせた.

<i>mādar</i>	<i>be</i>	<i>bačče</i>	<i>ejāze dād</i>	<i>ke</i>	<i>beravad</i>
母親	PREP	子供	許可する-IND.PAST.3SG	CONJ	行く-SUBJ.PRES.3SG

bāzi konad.

遊ぶ-SUBJ.PRES.3SG

または

<i>mādar</i>	<i>bačče</i>	<i>rā</i>	<i>gozāšt</i>	<i>ke</i>	<i>beravad</i>
母親	子供	POSTP	～させる-IND.PAST.3SG	CONJ	行く-SUBJ.PRES.3SG

bāzi konad.

遊ぶ-SUBJ.PRES.3SG

*ペルシア語では、強制使役を表す現在語幹は「現在語幹+接辞-ān」から作る. ただしこの使役語幹は動詞によっては用いられないことがある. 対応する使役語幹が使えない場合は, *goftan* 「(～と) 言う」, *farmudan* 「(～と) 命じる」, *majbur kardan* 「(～を) 強いる」などの動詞を補助的に前置して表す (例文 3), 5)を参照). 4a)のように, 「～の状態に *ferestādan* 送る」のように, 前置詞句を用いて表すこともできる.

*許可使役は *gozāstan* 「～させる」+接続法によって表す. 文脈によっては, *gozāstan* の代わりに *ejāze dādan* 「許可する」等が用いられることもある.

(5a) 私は弟に服を着せた.

man	be	barādar-am	lebās	pušādam.
私	PREP	兄弟- PRON.SUF.1SG	洋服	着させる-IND.PAST.1SG

(5b) 私は弟にその服を着させた.

man	barādar-am	rā	majbur kardam	ke
私	兄弟- PRON.SUF.1SG	POSTP	強制する-IND.PAST.1SG	CONJ

ān	lebās	rā	bepušad.
その	洋服	POSTP	着る-SUBJ.PRES.3SG

(6) 私は弟にその本をあげた.

man	ān	ketāb	rā	be	barādar-am	dādam.
私	その	本	POSTP	PREP	兄弟- PRON.SUF.1SG	与える-IND.PAST.1SG

(7a) 私は弟に本を読んであげた.

man	barāye	barādar-am	kebāb	xādam.
私	～のために(PREP)-EZ	兄弟- PRON.SUF.1SG	本	読む-IND.PAST.1SG

(7b) 兄は私に本を読んでくれた.

barādar-am	barāye	man	ketāb	xānd.
兄弟- PRON.SUF.1SG	～のために(PREP)-EZ	私	本	読む-IND.PAST.3SG

(7c) 私は母に髪の毛を切ってもらった.

man	az	mādar-am	xāstam	ke	muhā-yam	rā
私	PREP	母- PRON.SUF.1SG	頼む-IND.PAST.3SG	CONJ	髪(PL) - PRON.SUF.1SG	POSTP

barāy-am	kutāh konad.
～のために- PRON.SUF.1SG	短くする-SUBJ.PRES.3SG

*直訳すると, 7b)は「私の兄は私のために本を読んだ」, 7c)は「私は母に私の髪を私のために短くするように頼んだ」.

ペルシア語では, いわゆる「授恩恵」(～してあげる, ～してもらう)を表す特定の表現は用いられない. あえて訳す場合には, barāye や be xāter-e 「～のために」などの前置詞を受益者と共に用いる.

(8a) 私は（自分の）体を洗った.

man	badan-am	rā	šostam.
私	体-PRON.SUF.1SG	POSTP	洗う-IND.PAST.1SG

*イラン系言語がかつて有していた中動相は、現代ペルシア語では失われている。再帰的表現は接尾辞形人称代名詞か、再帰代名詞 *xod*, 再帰代名詞に接尾辞形人称代名詞を付した形を用いる。

(8b) 私は手を洗った.

man	dast-am	rā	šostam.
私	手-PRON.SUF.1SG	POSTP	洗う-IND.PAST.1SG

(8c) 彼は（／その人は）手を洗った.

u	dast-aš	rā	šost.
彼	手-PRON.SUF.3SG	POSTP	洗う-IND.PAST.3SG

(9) 私は（自分のために）その本を買った.

man	ān	ketāb	rā	(barāye	xod-am)	xaridam.
私	その	本	POSTP	～のために-EZ	自身-PRON.SUF.1SG	買う-IND.PAST.1SG

(10) 彼らは（／その人たちは）（互いに）殴り合っていた.

ānhā	(bā ham)	kotak kārī	mikardand.
彼ら	互いに ADV	殴り合い	～する-IND.IMPF.3PL

または

ānhā	hamdigar	rā	kotak mikardand.
彼ら	相互	POSTP	殴る-IND.IMPF.3PL

(11) その人たちは《みな一緒に》町へ出発した.

ānhā	<<hamegi	bā ham>>	be samt-e	šahr	harakat kardand.
彼ら	みな	互いに ADV	～の方へ-EZ	町	出発する-IND.PAST.3PL

*相互表現，衆動は代名詞等によって表される.

(12) その映画は泣ける (その映画を見ると泣いてしまう).

ān	film	geryedār	ast.
その	映画	涙をもよおす	COP.IND.PRES.3SG

*自発表現は, gereftan 「～を取る; ～し始める」などの動詞によって表される場合と, この例文のように名詞+動詞-dār 「持つ」などの現在語幹を付加した複合形容詞「～をもよおす, ～をもたらす」などの形によって表される場合がある.

(13a) 私は卵を割った.

man	toxme morq	rā	šekastam.
私	卵	POSTP	壊す-IND.PAST.1SG

(13b) 《うっかり落として》私はコップを割った (／割ってしまった).

man	livān	rā	šekastam
私	コップ	POSTP	壊す-IND.PAST.1SG

または

man	zadam	livān	rā	šekastam.
私	たたく-IND.PAST.1SG	コップ	POSTP	壊す-IND.PAST.1SG

*上の文が普通だが, 文脈によっては zadan 「たたく」を補助的に前に置き, 「うっかり～した」の無意志的ニュアンスを付加することもできる.

(14a) きのう私はコーヒーを飲みすぎて (飲みすぎたので) 眠れなかった.

diruz	az	bas	ke	qahve	xordam
昨日	PREP	十分	CONJ	コーヒー	飲む-IND.PAST.1SG

natavēnestam	bexābam
～できる-NEG.IND.PAST.1SG	眠る-SUBJ.PRES.1SG

(14b) きのう私は仕事がたくさんあって (たくさんあったので) 眠れなかった.

diruz	xeyli	kār	dāštam	va	natāvanestam
昨日	非常に	仕事	持つ-IND.PAST.1SG	CONJ	～できる-NEG.IND.PAST.1SG

bexābam.

眠る-SUBJ.PRES.1SG

* 随意・不随意による不可能表現には相違はない。

(15) 私は頭が痛い。

(man)	sar-am	dard mikonad.
私	頭-PRON.SUF.1SG	痛む-IND.PRES.3SG

(16) あの女性は髪が長い。

ān	xānom	muhā-yaš	boland	ast.
あの	女性	髪 PL-PRON.SUF.3SG	長い	COP.IND.PRES.3SG

*ペルシア語では、日本語と同様、二重主語構文を用いることが可能。ただし、所有関係を表す接尾辞形人称代名詞を付加することが必要。

または

muhā-ye	ān	xānom	boland	ast.
髪 PL-EZ	あの	女性	長い	COP.IND.PRES.3SG

*直訳すると「あの女性の髪は長い」。

(17a) 彼は（別の）彼の肩を叩いた。

u	be	šāne-aš	zad.
彼	PREP	肩-PRON.SUF.3SG	叩く-IND.PAST.3SG

(17b) 彼は（別の）彼の手をつかんだ。

u	dast-aš	rā	gereft.
彼	手-PRON.SUF.3SG	POSTP	つかむ-IND.PAST.3SG

(18a) 私は彼がやって来るのを見た。

man	didam	ke	u	dārad miyāyad.
私	見る-IND.PAST.1SG	CONJ	彼	来る-IND.PROG.PRES.3SG

man	u	rā	dar	hāl-e	āmadan	didam.
私	彼	POSTP	PREP	状態-EZ	来る-INF	見る-IND.PAST.1SG

*知覚構文は、接続詞 ke によって導かれる補文、または dar hāl-e +不定詞「～の状態にある」などの前置詞句によって表す。

(18b) 私は彼が今日来ることを知っている。

man	midānam	ke	u	emruz	miyāyad.
私	知る-IND.PRES.1SG	CONJ	彼	今日	来る-IND.PRES.3SG

(19) 彼は自分（のほう）が勝つと思った。

u	fekr kard	ke	mibarad.
彼	考える-IND.PAST.3SG	CONJ	勝つ-IND.PRES.3SG

u	fekr kard	ke	barande	mišavad
彼	考える-IND.PAST.3SG	CONJ	勝者	～になる-IND.PRES.3SG

(20a) 私は（コップの）水（の一部）を飲んだ。

man	baxš-i	az	āb-e	dāxel-e	livān	rā
私	一部+i(SUF)	PREP	水-EZ	内部-EZ	コップ	POSTP

xordam.

飲む-IND.PAST.1SG

*特に部分を表す場合は、baxš などの部分を表す名詞+不定を表すいわゆる「無強勢-i」と所属を表す前置詞 az 「～から」との複合表現を用いる。

(20b) 私は（コップの）水を全部飲んだ。

man	tamam-e	āb-e	dāxel-e	livān	rā	xordam.
私	全て-EZ	水-EZ	内部-EZ	コップ	POSTP	飲む-IND.PAST.1SG

(21)彼は肉を食べない。

u	gušt	nemixorad.
彼	肉	食べる-NEG.IND.PRES.3SG

(22a) 今日寒い。

emruz	(havā)	sard	ast.
今日	気候, 天気	寒い	COP.IND.PRES.3SG

(22b) 私は (何だか) 寒い (私には寒く感じる).

sard-am ast.
寒い-PRON.SUF.1SG COP.IND.PRES.3SG

*ペルシア語では、感覚主体が感じられる感情・知覚・感覚表現は、感覚・感情等を表す形容詞に感覚主体に対応する接尾辞形人称代名詞を付けた表現によって表すことが多い。この種の表現では、コピュラは感覚主体に関係なく3人称となり、一種の非人称構文をとる。「気に入る」「思い出す」等の表現では、コピュラではなく āmadan 「来る」等の一般動詞を用いた、az in rang xoš-am āmad (この色から私に喜びがやって来た；私はこの色が気に入った) のような表現も頻繁に用いられる。

(23) 私は人がとても多いのに驚いた。

man ta'ajjob kardam ke inqadr ādam ziyād ast.
私 驚く-IND.PAST.1SG CONJ このように 人 多い COP.IND.PRES.3SG

(24) 雨が降ってきた。

bārān gereft.
雨 ~始める-IND.PAST.3SG

(25) その本は良く売れる。

ān ketāb foruš-e xubi dārad.
その 本 売り・売却-EZ 良い-i(SUF) 持つ-IND.PRES.3SG

*この他、「このナイフはよく切れる」「この車はよく走る」などの表現は、

in čāqu xub miborad.
この ナイフ よく 切る-IND.PRES.3SG

のように他動詞 (活用は主語=道具に一致) を用いて表すことができる。

■略号

ADV	副詞
CONJ	接続詞
COP	コピュラ
EZ	エザーフェ (修飾関係を示す連結辞)
IMPF	未完了
IND	直説法
INF	不定詞
NEG	否定
PAST	過去
PERF	完了
PL	複数
POSTP	後置詞
PREP	前置詞
PRES	現在
PROG	進行形
PRON.SUF	接尾辞形人称代名詞
SG	単数
SUBJ	接続法
SUF	接尾辞